

# 京都スタジアム(仮称) 自然環境との共生と建設地周辺の治水対策



▲東側上空からの鳥瞰イメージ(技術提案時のイメージであり、今後変更されることがあります)

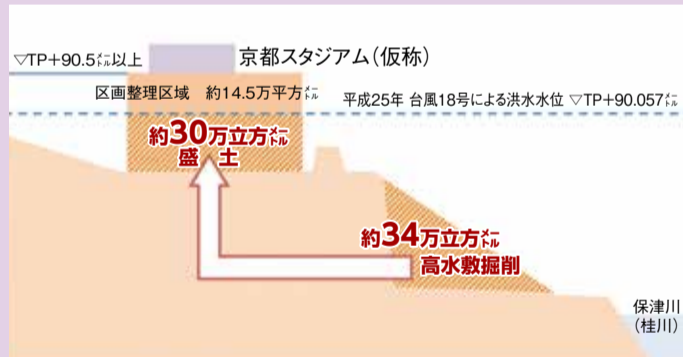
先月号でお伝えしました通り、京都府が亀岡駅北土地地区画整理事業地に建設する京都スタジアム(仮称)について、設計事務所による施設概要の提案が公表されました。建設については、自然環境との共生と周辺の治水対策に十分に配慮し、平成31年度の供用開始に向け、計画が進められています。

## アユモドキの保全 自然環境との共生

スタジアム建設地周辺に生息する国の天然記念物アユモドキについては、地元保津町の皆さんをはじめ、NPO、国、京都府、亀岡市および関係機関の連携による継続的な保全、保護活動が展開されています。アユモドキ保護の観点から、スタジアムの建設は当初の計画地から変更され、また、スタジアムの建設に当たって地下水調査が行われ、一層の生息環境保全が進められているとされています。

## スタジアム建設地周辺の治水対策

こうした自然環境との共生とともに、建設地周辺の治水安全度のさらなる向上が図られています。スタジアムの建設計画地を含む亀岡駅北土地地区画整理事業地は、平成10年の日吉ダム完成や、平成8年度から21年度にかけて行われた保津川(桂川)の堤防の嵩上げや川幅の拡幅などの河川改修により、概ね10年に一度の大雨に耐えられるようになっていきます。こうした安全性の向上により、土地地区画整理事業地は都市計画審議会などの



▲京都スタジアム(仮称)建設にかかる盛土のイメージ

手続きを経て土地利用ができる市街化区域に編入され、まちづくりが進められています。また、土地地区画整理事業地は標高90・5以上の高さまで

で造成され、平成25年の台風18号がもたらした洪水水位を上回る高さになります。なお、これまで洪水時に遊水機能を有していた土地に造成を行うことから、この土地への盛土量約30万立方メートルと同等以上の約34万立方メートルの掘削を河川敷で行うことにより、洪水の貯留機能が河川内に確保され、造成により周辺地域での安全性に影響が出ないようにしています。このように、京都スタジアム(仮称)の建設は、自然環境への影響や周辺地域の安全性に十分配慮され、計画が進められています。亀岡市は今後も京都府と連携し、京都スタジアム(仮称)を核とした新たなにぎわいの創出と未来のまちづくりを進めてまいります。

## 亀岡市議会 議長と副議長が決定



やすたか 議長 湊 泰孝



よしひで 副議長 小島 義秀

2月15日、平成29年第1回亀岡市議会臨時会が開かれ、第41代議長に湊泰孝議員(緑風会)、第52代副議長に小島義秀議員(新清流会)が選出されました。

当選されて以来、現在4期目。これまでに、市議会副議長や議会運営委員会委員長などを歴任されています。小島副議長は、平成19年に初当選されて以来、現在3期目。これまでに、市議会副議長や産業建設常任委員会委員長などを歴任されています。

## 新体制の京都サンガF.C.が 起動!!



▲多くの人が駆け付けた壮行会(2月19日 ガレリアかめおか)

### 新体制発表記者会見

1月16日、ガレリアかめおかにおいて、京都サンガF.C.の新体制発表記者会見が行われました。これは、京都府が進める京都スタジアム(仮称)の建設予定地が亀岡市であることから記者会見の場として選ばれたものです。

京都サンガF.C.の今季のスローガンは、「JOSHOU魂」。「上昇」「常勝」という熱い思いが込められています。会見では、駆け付けた多くのサポーターが見守る中、今季から新たにチームに加わる監督や選手が意気込みを語られました。布部陽功監督は、「選手の特徴を生



▲チームに加入した田中マルクス闘莉王選手

かし、勝ちにこだわったシーズンにしたいです」と挨拶されました。また、元日本代表選手で、チームの支柱となることが期待される田中マルクス闘莉王選手が「J1リーグ昇格を現実させるシーズンにします」と力強く宣言すると、会場は大きな拍手に包まれました。

### 京都サンガF.C.2017 シーズン亀岡市壮行会

2月19日、ガレリアかめおかにおいて、本市、京都スタジアム

(仮称)を支援する会、亀岡市商店街連盟の中の加盟有志で構成される「亀岡サンガ応援商店街」の共催による壮行会が行われました。これは、平成26年5月に本市が京都サンガF.C.のホームタウンになって以来、初めて行うものです。

当日は、桂川市長が「市民一丸となって応援します。J1リーグへの昇格を期待しています」と激励の言葉を贈ったほか、「亀岡サンガ応援商店街」の発足セレモニーを開催。11商店街代表の皆さんがステージに登壇し、代表の仲井資具さんが「熱い想いで応援しています。サンガに関する情報発信なども行っていきます」と挨拶されました。

また、「亀岡市職員企業等派遣研修協定締結式」も行われ、(株)京都パープルサンガの山中大輔社長と桂川市長が協定書に署名しました。この協定により、4月から市職員を同社へ派遣し、クラブ運営やチーム支援のほか、地域連携などに従事し、そこで得たノウハウを本市のにぎわい創出などのまちづくりに役立てていくこととしていきます。

2月26日の開幕戦には、京都府内のホームタウンのご当地キャラクターが集まり、試合を大いに盛り上げました。J1リーグ昇格を目指す京都サンガF.C.を皆さんと一緒に応援しましょう!